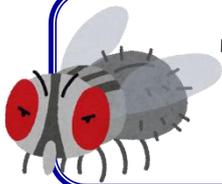


# 家畜衛生広報いいだ

長野県飯田家畜保健衛生所  
飯伊家畜畜産物衛生指導協会  
TEL : 0265-53-0439、0440  
FAX : 0265-53-0441  
E-mail : iidakachiku@pref.nagano.lg.jp  
http://www.pref.nagano.lg.jp/iidakachiku/

R 3(2021)9.30 発行 2021\_No.5



## サシバエにご用心！！ ～ 駆除対策を実施しましょう～

サシバエは秋口に発生のピークを迎えます。

吸血のストレスによる乳量低下や増体重の低下など、牛の生産性に影響します。  
また、牛伝染性リンパ腫（牛白血病）ウイルスの伝播に大きく関わっています。

### サシバエの生態

- ✓ 口器が鋭い針のようになっており、刺すことで血を吸う。刺されると痒み・痛みを伴う。
- ✓ 成虫の生存期間は約2週間で、生涯産卵数は800個。
- ✓ 糞尿など有機物を多く含むところ、湿ったところに産卵する。
- ✓ 20℃前後で活発に活動する。

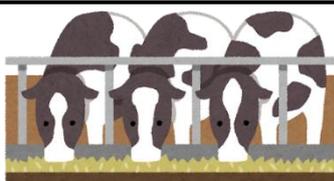
これからの時期  
問題となります！！

### サシバエによる影響

- ✓ 吸血による痛みにより、尾を振り回す・足を蹴り上げるなどの行動の変化
- ✓ その結果、牛が落ち着かなくなる→作業性の低下、ミルクカーの落下やライナーズリップの発生による乳房炎の多発
- ✓ 起立時間が増加し、採食量が減少→肢蹄への負担の増加、乳量・増体量の低下
- ✓ 刺傷からの牛伝染性リンパ腫（牛白血病）などの伝染病の伝播

### 対策について

- ① **畜舎に入れない**  
網目の細かい（2mm以下）防虫ネットの設置、低い位置（1.5m以下）での電撃殺虫機の設置（吸血直後のサシバエは高く飛べないため）。
- ② **発生場所をなくす**  
糞尿や飼料残渣に産卵し、発生源となる→隅々まで、こまめな清掃を行う。
- ③ **成虫になる前に駆除する**  
成虫に殺虫剤を吹きかけても効果は一時的→幼虫対策を優先して実施。主に脱皮阻害剤（IGR剤）を用いる。  
2週間～4週間間隔で、しっかりと浸透させるように散布する。



お問合せ：飯田家畜保健衛生所 保健衛生課  
TEL:0265-53-0440 FAX:0265-53-0441